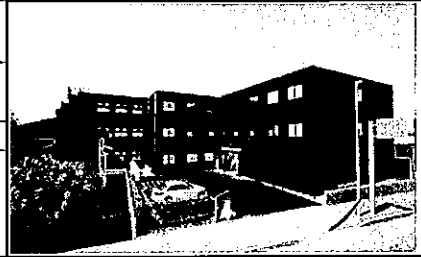


# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)春日部市小洲計画	階数	地上3F
建設地	埼玉県春日部市	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年11月 予定	評価の実施日	2025年4月24日
敷地面積	1,424 m <sup>2</sup>	作成者	佐藤 正太郎
建築面積	853 m <sup>2</sup>	確認日	2025年6月6日
延床面積	2,530 m <sup>2</sup>	確認者	稲村 敏伸



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	184 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )	100%
②建築物の取組み	138	81%
③上記②以外の	92	81%
④上記+	46	81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	3.0
温熱環境	2.3
光・視環境	3.2
空気質環境	3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性	3.2
耐用性	2.9
対応性	2.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

### LR 環境負荷低減性

**LRのスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.5
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.7
地域環境	2.5
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 1.25% ≤ [昼光率]。 そして、建築物衛生法を満たす換気量1.4倍以上となっている。また、ビル全体の禁煙が確認されている。	<b>Q2 サービス性能</b> 個室10m <sup>2</sup> /床で、かつ多床室8m <sup>2</sup> /床以上。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 特になし。
<b>LR1 エネルギー</b> BPI=0.69。そして、 BEI / BEI <sub>m</sub>  =0.76。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマと節水機能などに加えて、節水型便器も採用している。そして、LGS使用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率81%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
(仮称)春日部市小沢計画

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版  
 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>			0.40			<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>		3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20	
<b>2 温熱環境</b>		2.0	0.35	2.6	1.00	2.3
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ソーン別制御性		3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		1.0	0.30	3.0	0.30	
<b>3 光・視環境</b>		3.0	0.25	3.3	1.00	3.2
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率	1.25% ≤ [昼光率]	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口			-		-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		2.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
<b>4 空気質環境</b>		3.5	0.25	3.2	1.00	3.3
4.1 発生源対策		3.0	0.50	3.0	0.63	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気		3.5	0.30	3.6	0.38	
1 換気量	建築物衛生法を満たす換気量1.4倍以上となっている。	4.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能			-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		5.0	0.20		-	
1 CO <sub>2</sub> の監視			-		-	
2 喫煙の制御	ビル全体の禁煙が確認されている。	5.0	1.00		-	
<b>Q2 サービス性能</b>			0.30			<b>2.8</b>
<b>1 機能性</b>		2.4	0.40	3.8	1.00	3.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性	個室10m <sup>2</sup> /床で、かつ多床室8m <sup>2</sup> /床以上。		-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応			-		-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観			-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			-		-	
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		2.9	0.30		-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性		2.8	0.20		-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20		-	
3 電気設備		3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性		2.6	0.30	2.2	1.00	2.3
3.1 空間のゆとり		1.8	0.30	1.4	0.50	
1 階高のゆとり		1.0	0.60	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		3.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			0.30			2.2
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						3.3
LR1 エネルギー			0.40			3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI <sub>m</sub> =0.69	5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.76	3.8	0.50	-	3.8
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	
集合住宅の評価			-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			0.30			3.0
1 水資源保護			3.4	0.20	-	3.4
1.1 節水		節水コマと節水機能などに加えて、節水型便器も採用している。	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	3.0
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS使用している。	4.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	
1 消火剤			-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境			0.30			2.9
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率81%	3.7	0.33	-	3.7
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	2.3
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	
2 振動			-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちがに漏れる光への対策			1.0	0.70	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート












■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)春日部市小測計画	BEE	1.0	BEEランク	★★★
------	--------------	-----	-----	--------	-----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		= 5.3 / 
3.7	+	1.6		
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.7
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.7
ライフサイクルCO2排出率81%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
特になし。			

: 入力欄